

かわにし市民会議からの提案

～全班からの提案～

以下の5つの提案は、私たち市民会議参加者が、5回にわたって議論してきたことや、各回で記載した「改善提案シート」の内容で共通した内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 「川西市の象徴」をつくることで市への愛着や誇りをこれまで以上に持てる環境をつくる。

提案

2. 川西市のめざす方向性を市民と共有するために、みんなでまちづくりを考える仕組みをつくる。

提案

3. 「情報は出している」という行政側の意識と、「知らなかった」という市民の意識のギャップを埋めるための仕掛けを考える。

提案

4. 様々な情報媒体を活用したシティプロモーションを実施する。

提案

5. 子どもから高齢者までがさらに住みやすい川西になるよう、子育てと医療に対する満足度を高めるための工夫を行う。

提案

1. 「川西市の象徴」をつくることで市への愛着や誇りをこれまで以上に持てる環境をつくる。

【提案内容】

各班共通で、川西市は住みやすいところである一方、自信をもって川西市を紹介できるものがないという意見が出た。「宝塚市の隣」ではなく、「川西といえば 」といった川西市の象徴をつくり、市内・市外へその魅力が伝わっていくような取り組みを行う。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

自分の川西への思いなどを発信していく。
知人に有名なものを知らせる。
地域の状況を知り、地域活動に参加する。
市内のイベントに参加し、インスタグラム等で写真アップ、口コミ投稿をする。


地域

地域の中で特徴・有名なものを発見し、発信していく。

行政

一つの象徴を強く売り出し、魅力的に見せて配信する。
川西の目玉となるイベントを企画する。

～提案内容の具体的なイメージ～

| 主体 | 取り組み内容 | 具体的なイメージ |
|----|---------------------------|---|
| 行政 | 一つの象徴を強く売り出し、魅力的に見せて配信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「写真を撮りに来てもらえる特徴のあるまち」をめざす 市内住民が種植えと水やりを当番で行う ・「キセラ」地区を象徴として売り出す コワーキングスペースの設置 映画館の誘致 ・川西 IC 周辺に道の駅のような施設を建設する 高速道路から料金据え置きで行き来できる 「道の駅 川西」などわかりやすい名前にする お風呂や特産品販売コーナーを作る 特産品を活かしたモノづくりを募集する 商品化する |
| | 川西の目玉となるイベントを企画する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キセラの公園で毎日フリーマーケットをする 地場産、地元商店の出店 ブランド化を図る <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>イメージ 知恩寺手作り市</p> </div> </div> |

2. 川西市のめざす方向性を市民と共有するために、みんなでまちづくりを考える仕組みをつくる。

【提案内容】

住宅都市である川西市が、今後外から人口流入の増加を目指していくのか、人口減を前提としたまちづくりをしていくのか、また、コミュニティをどの程度重視していくのかなど、今後の方向性が不明確であるという意見が出た。

市のめざす方向性を市民にわかりやすく示し、共有し、環境をつくっていく。

「提案2」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

個人

ホームページを見るなど、情報を収集する。

市民会議のような場に参加する。

めざすべき姿を具体的にハード、ソフトの両面で定義する。

行政

市の方向性を明示する。

進行中や検討している事業を公開する。

舎羅林山等の整地が進んでいる地区について、情報を公表する。

その他の意見

外からの人口流入による人口増をめざすのか、コミュニティを活用して現状を維持するのかわからない。

近畿圏の周辺市町の人口はどう変化しているのか、衛星都市の今後の推計はどう考えているのか。

川西市に住んでほしい世帯モデルがあるのか。

子どもの数の目標数値はあるのか。

3. 「情報は出している」という行政側の意識と、「知らなかった」という市民の意識のギャップを埋めるための仕掛けを考える。

【提案内容】

市民会議に参加する中で、これまで地域や行政が行ってきたことで、初めて知った内容が多くあった。行政の意識（情報は出している）と市民の意識（知らなかった）にギャップが起きている。私たちは情報を入手する努力をし、行政は、情報を「出す」だけでなく、共有（情報の整理）する意識が大切ではないだろうか。市民がわかるような資料の作り方や言葉の選び方を心がけることが必要となる。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

不思議に思ったらまず調べる。
広報誌や市のホームページを通じて情報を得る。

地域

地区の会合の場で積極的に話題に出す。
地域で市の情報を見られる環境を整える。



行政

情報発信の改善をアンケートで受け付ける。
硬くない、市民に分かりやすい資料を作る。
転入者に対し、市役所の窓口で情報提供する仕組みをつくる。
LINE のユーザー属性を利用した情報配信をする。

その他の意見

普段市のHPは見えていなかったが、市民会議で初めて知った情報が多い。
広報誌をどこに配っているかわからない。
市のイベントを知るのに市内の地域ごとに差がでているのではないか。
市ホームページとシティプロモーションサイトの役割分担がわからず、どっちを見ていいかわからない。

～ 提案内容の具体的なイメージ～

| 主体 | 取り組み内容 | 具体的なイメージ |
|-----------|-----------------------------------|---|
| | <p>市民が活用しやすいホームページにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 頻度を高く情報発信する。 シティプロモーションサイトのメインビジュアルの更新頻度をあげる  <p>見やすいホームページのイメージ 川西市グリーンハイツ自治会</p> |
| <p>行政</p> | <p>様々な世帯が広報誌を読んでもらえるような工夫をする。</p> | <p>【掲載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌の種類をターゲット別に分けてメッセージを強化する。 <p>【配布方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> カフェなどに川西の情報誌、広報誌を配布する <p>【その他の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌を読んでもらえるようにクーポンを付ける <p>市役所にクーポン発券機を設置</p> |
| | <p>LINE のユーザー属性を利用した情報配信</p> |  <p>イメージ・・・横手市(LINE HPより)</p> |

4. 様々な情報媒体を活用したシティプロモーションを実施する。

【提案内容】

それぞれの班で出された川西の魅力を市民だけではなく市外の人にも知ってもらい川西に来たいと思ってもらうため、様々な情報媒体で情報発信を行う。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

個人

SNS や口コミで情報を発信する。
知名度が低いことを受け入れ、残念な自虐的なネタとして発信する。
LINE のスタンプにきんたくんのスタンプを活用する。

地域

イベント情報を連絡できる手段（掲示板の用意、スーパーや駅にポスターを貼る等）を考える。

行政

SNS やメルマガなどを活用して情報発信をする。
マスコミへの売り込みを行う。
阪急、JR での広告、施設のラグジュアリー化を行う。
市の史跡や施設をめぐるスタンプラリーを開催する（完走者にはイチジクを用いたお菓子を用意）
きんたくんの由来を配信し、アピールする。
市の特産を使ったイベントを開催する。
能勢電が実施しているイベントを市でバックアップする。

その他の意見

きんたくんをもっとアピールしてはどうか。
市出身の有名人に協力してもらってはどうか。
SNS も大事だが紙媒体も活用する必要がある。

5. 子どもから高齢者までがさらに住みやすい川西になるよう、子育てと医療に対する満足度を高めるための工夫を行う。

【提案内容】

子どもの数が減少しているが、転入者は30代と0~9歳が多く、このことは川西の非常に大きな特徴といえる。この世代がさらに住みやすいと思ってもらいつつ、高齢になっても川西に住み続けたいと感じられるよう、医療についての市民のニーズ調査などをしながら対策を考える。

「提案5」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

個人

子育てしやすく、住みやすいまちであることを、職場や友人に発信する。
 他都道府県に転出した子どもに声をかける。
 地域内の病院、クリニックを把握し、市内の病院を利用する。
 口コミ投稿等で情報共有を図る。

地域

子育てしやすい地域づくりを行う。

行政

婚活イベントを行う。
 病院の待ち時間、特長、口コミ等を集めたサイトの管理を行う。
 市立川西病院の送迎を充実させる。
 在宅医療が受けられるよう、医師会等に働きかける。
 市内に不足している耳鼻科等を誘致する。

**民間企業、
NPO等**

市内医療機関が積極的に在宅で受診できるよう協力する。
 市内医療機関は、予約や待ち時間を提示する。

その他の意見

川西市内の病院を受診した後、市立池田病院を紹介された。市内で対応できる病院がない状況であり、川西市の医療の充実が必要。

~ 提案内容の具体的なイメージ ~

| 主体 | 取り組み内容 | 具体的なイメージ |
|----|------------|--|
| 行政 | 婚活イベントを行う。 | ・カップル成立で家をプレゼントするなど特典をつける(10年間住み続ける条件付き) |